

研究計画発表会

○日時：2016 年 6 月 10 日（金）13：00～

○場所：総合教育研究棟 1F 遠隔講義室（生命系スペース C）

○発表者及び演題（発表 B4:7 分, M1:15 分, D1:20 分, 質疑応答 B4:3 分, M1:5 分, D1:10 分）

1. 馬久地杜行 (B4) —細胞遺伝応答研究分野—
『*Trifolium repens L.* における複葉形成関連遺伝子の解析』
2. 池田汐里 (B4) —寒冷発育制御研究分野—
『タンパク質膜挿入に關与する糖脂質酵素 MPIase の構造と機能の研究』
3. 鈴木苑実 (B4) —寒冷発育制御研究分野—
『タンパク質膜挿入阻害による糖脂質酵素 MPIase 発現誘導機構の解析』
4. 小林千江 (B4) —寒冷発育制御研究分野—
『Understanding the role of Rab5 GTPase regulated protein trafficking pathway in high temperature-mediated plant growth and development』
5. 尾形芽衣 (B4) —生命適応機能研究分野—
『野外におけるシロイヌナズナの低温馴化』
6. 矢後琴美 (B4) —生命適応機能研究分野—
『DRP1E が關与する低温馴化過程における細胞膜改編の解析』
7. 佐々木 彩乃 (B4) —共生環境課程森林科学コース（生命適応機能研究分野との共同研究）—
『タブノキの自生北限と寒冷耐性メカニズム』

—— 休憩 14：10～14：20 ——

8. 中村匠汰 (M1) —寒冷発育制御研究分野—
『生体膜における膜タンパク質の自発的膜挿入抑制機構の解明』
9. 西川華子 (M1) —寒冷発育制御研究分野—
『MPIase を用いた TAT (Twin-arginine translocation) 膜透過経路の再構成』
10. 金谷真希 (M1) —生命適応機能研究分野—
『植物の冬への適応と環境関知による低温馴化のコントロール』

—— 休憩 15：20～15：30 ——

11. 佐々木 優 (D1) —寒冷発育制御研究分野—
『タンパク質膜挿入反応における膜挿入因子間の相互作用様式の解明』
12. 佐藤 諒 (D1) —寒冷発育制御研究分野—
『大腸菌におけるタンパク質膜挿入機構の解明とその応用』
13. Mohammad Arif Ashraf (D1) —寒冷発育制御研究分野—
『Understanding the role of endocytic protein trafficking pathways under low temperature stress in *Arabidopsis thaliana*』
14. 開 勇人 (D1) —生命適応機能研究分野—
『自然環境における植物の低温感知メカニズム』